

## 第5回「スリランカを知ろう」ツアー報告 (2017年3月5日~3月12日)

今年も、スリランカの小規模小学校との交流と、ユネスコの世界遺産の観光を兼ねた「スリランカを知ろう」のツアーに行ってきました。参加者は8名で、3つの小学校を訪問し、それぞれ日本の紹介、子供たちとの大縄跳び、新聞紙を使ったかぶとづくりなどして交流し、また、どのような支援が必要なのかを伺ってきました。初参加者6名でしたが、事前の準備も多くの方の協力があって、楽しく交流できました。

訪問した小学校は、マータレ、ダンブッラ、ヌワラエリヤの地域で、1~5年生(5~9歳)が学んでいます。

### (1) パルターワ小学校、マータレ県、生徒数約50人、3月6日

最初に、校庭に生徒の皆さんに集まってもらい、写真や地図を使いながら日本のことを紹介しました。ここではまだ緊張気味の生徒たちも、次に日本の遊びとして大縄跳びを始めたところ、慣れないながらも積極的に加わり盛り上がりました。そして教室の戻り、学年ごとに新聞紙でかぶとの折り紙作りをして、最後に自分の名前と好きな物、将来の夢をそれぞれに書いてもらいました。



(2) アラコラヴェワ小学校、ダンブッラ県、生徒数 34 人、3 月 7 日

この学校では、教室で日本の自然や慣習を紹介し、その後校庭に出て大縄跳びをしました。ここでも大縄跳びでみんな元気になり、つぎの新聞紙でのかぶとづくりも楽しくできました。それぞれの名前や好きな物、将来の夢を書いてもらいました。先生方や参加された地域の方々も、日本の紹介に興味深く聞いていたのが印象に残りました。学校側からキンココナツのジュースをいただきました。



(3) ラトゥナギリヤ小学校、ヌワラエリヤ県、生徒数 23 人、3 月 10 日

この学校でも、写真や地図を使い日本の自然や慣習を紹介しました。大縄跳びや新聞紙でのかぶとづくりも、先生方の協力も得ながら楽しみました。この学校は、校舎の壁に理念や目標、日本の九九にあたるような計算式が掲示され、校長を含め 4 人の女性の先生が、とても教育熱心なことが伝わってきました。

どの学校でも子供たちの生き生きした姿を見て、私達参加者が逆に元気づけられた気がします。子供たちの好きな物や将来の夢、支援の希望内容などは別記の通りです。





観光は、ポロンナルワ、ダンブッラ、シーギリア、キャンディの仏歯寺等の世界遺産を回りました。また、スパイスガーデンや紅茶工場、バティック（ろうけつ染め）の作業場なども見学し、ヌワラエリヤからキャンディまで列車の旅も楽しみました。



### 3つの学校の子どもたちに聞いた My Dream

|                | 学校の先生 | 医者 | 警察 | 軍人 | 看護師 | エンジニア | 銀行員 | その他 |
|----------------|-------|----|----|----|-----|-------|-----|-----|
| ラタナギリヤ<br>小学校  | 5     | 1  | 9  | 4  | 1   | 1     | 1   | 1   |
| アラコラウエワ<br>小学校 | 12    | 11 | 3  | 7  | 1   |       |     |     |
| パルタワ<br>小学校    | 35    | 4  | 2  | 6  | 1   | 3     |     | 5   |